

| ID  | 受理日        | 番号    | 報告者名      | 一般名           | 生物由来成分名              | 原料料名   | 原産国 | 含有区分 | 文献 | 症例 | 適正<br>使用<br>措置 | 感染症(PT)      | 出典                                      | 概要                                                                                                                                                                                                                             |
|-----|------------|-------|-----------|---------------|----------------------|--------|-----|------|----|----|----------------|--------------|-----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 159 | 2007/05/10 | 70158 | 東和薬品      | ウリナスタチンの注射液   | ウリナスタチン              | ヒト尿抽出物 | 中国  | 有効成分 | 有  | 無  | 無              | ウイルス感染       | Emerg Infect Dis<br>2007; 13: 165-167   | 中国Hunan省で2005年11月3日から2006年4月3日に下部呼吸器感染で入院した10歳以下の小児の鼻咽腔吸引物を調べたところ、252検体中21例(8.3%)でヒトボカウイルス(HBoV)が検出された。VP1遺伝子の系統発生的分析の結果、世界中のHBoVの単一の遺伝的系統が示された。                                                                               |
| 160 | 2007/05/10 | 70159 | 沢井製薬      | ウリナスタチン       | ウリナスタチン              | ヒト尿    | 中国  | 有効成分 | 有  | 無  | 無              | 結核           | ProMED-mail20061009.2896                | 2004年後半に英国Birmingham近くのナイトクラブにいた6人がウツン結核に感染した。アウトブレイク源として1名が特定され、感染した女性1名が死亡した。これはこの数十年で初めての英国におけるウツン結核のヒト-ヒト伝播の報告であり、ウツンにおける感染率の増加と一致している。英国のウツンのほぼ1%は結核のキャリアであると思われる。今回の感染者にはHIV陽性者や同化ステロイド使用者が含まれ、易感染者であったと考えられた。           |
| 161 | 2007/05/10 | 70160 | 沢井製薬      | ダルテバリンナトリウム   | ダルテバリ<br>ンナトリウム      | ブタ小腸粘膜 | 中国  | 有効成分 | 有  | 無  | 無              | インフルエンザ      | CDC INFLUENZA<br>(FLU) 2006年12月6<br>日   | ブタインフルエンザに関するQ&A。ブタインフルエンザはA型インフルエンザであり、ブタにおいてインフルエンザのアウトブレイクを引き起こす。通常、ヒトには感染しないが、散発的にヒトでの感染が発生する。ここ数年間では、CDCは平均して年に1例のヒト陽性患者からのブタインフルエンザ分離株に関する報告を受け取っている。ブタと直接接触するヒト(例えば、養豚業者)で発生している。ヒトからヒトへ広がった例は稀である。                     |
| 162 | 2007/05/11 | 70161 | あすか製<br>薬 | 精製下垂体性腺刺激ホルモン | 下垂体性性<br>腺刺激ホル<br>モン | ヒト尿    | 中国  | 有効成分 | 有  | 無  | 無              | 鳥インフルエン<br>ザ | WHO/ Avian<br>influenza 2007年2<br>月27日  | 2007年2月27日、ラオス保健省はH5N1トリインフルエンザウイルスの初めてのヒト感染症例を報告した。Vientianeの15歳女性で、2月10日にインフルエンザ様症状を呈し、15日に入院した。17日にタイの病院に移り、現在、安定した状態である。タイの国立保健研究所による検体検査で、H5N1感染陽性と確定された。少女と接触のあった大人はオセルトミビルの予防的服用を行った。今までのところ全員健康である。                    |
| 163 | 2007/05/11 | 70162 | あすか製<br>薬 | 下垂体性性腺刺激ホルモン  | 下垂体性性<br>腺刺激ホル<br>モン | ヒト尿    | 中国  | 有効成分 | 有  | 無  | 無              | 鳥インフルエン<br>ザ | WHO/ Avian<br>influenza 2007年2<br>月27日  | 70161に同じ                                                                                                                                                                                                                       |
| 164 | 2007/05/11 | 70163 | 高田製薬      | ウリナスタチン       | ウリナスタチン              | ヒト尿    | 中国  | 有効成分 | 有  | 無  | 無              | 狂犬病          | YOMIURI ONLINE<br>(2006年11月17日<br>読売新聞) | 2006年11月16日、厚生労働省は、京都市の80歳の男性がフイリピン犬にかまれ、帰国後に狂犬病を発症したと発表した。厚労省によると、日本人が国内で狂犬病を発症したのは38年ぶりである。男性はフイリピン滞在中の8月末に野良犬にかまれ、11月1日に帰国した。9日に風邪のような症状で京都市内の病院を受診した。その後、幻覚症状、水や風を怖がるなど狂犬病特有の症状を発症した。国立感染症研究所が調べたところ、男性の唾液から狂犬病ウイルスが検出された。 |